



10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |  |
|----------------------|--|
| ○当事者A                | 年齢[24]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[0]年、階級[消防士]、同様の活動[]、任務[隊員] |
| ○当事者B                | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]          |
| ○当事者C                | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]          |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |  |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が | なにをした                | その他・備考など |
|------|-------|----------------------|----------|
| 経過1  | 当事者A  | 三連梯子の訓練中に横さんから両手を離した |          |
| 経過2  |       |                      |          |
| 経過3  |       |                      |          |
| 経過4  |       |                      |          |
| 経過5  |       |                      |          |
| 経過6  |       |                      |          |
| 経過7  |       |                      |          |
| 経過8  |       |                      |          |
| 経過9  |       |                      |          |
| 経過10 |       |                      |          |

【その事例発生時の状況について】



- 負傷事故の場合：負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？  
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった

|            |     |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・ 足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|            |
|------------|
| はい：基本知識の欠如 |
|------------|